

資料編

- 読書についてのアンケート（小中学生）
- 子どもの読書活動の推進に関する法律

計画策定に係るアンケート調査の概要について

◆ 調査目的

市原市子ども読書活動推進計画（第二次）の目標・指標等を検討するにあたっての基礎資料とする。

◆ 調査対象

児童・生徒対象アンケート＜前回：平成17年度＞

- ・ 市原市立全小学校（46校）の小学5年生（各学校任意の1クラスを抽出）
- ・ 市原市立全中学校（21校）の中学2年生（各学校任意の1クラスを抽出）

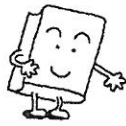
◆ 調査期間

平成22年6月11日（金）～平成22年7月2日（金）

◆ 対象者数及び回収結果数

| | 実施校 | 実施対象 | 対象者数(配布数) | 回収数 | 回収率 |
|-----|-----|----------|-----------|-------|-------|
| 小学校 | 45校 | 第5学年1クラス | 1,180 | 1,155 | 97.9% |
| 中学校 | 21校 | 第2学年1クラス | 661 | 608 | 92.0% |

*富山小は対象者（第5学年）無し



～読書についてのアンケート～



1) 読書についての考え方などについて

1 あなたは、よく本を読みますか。

- 1 よく読む →1-2へ 2 どちらかといえば読む →1-2へ
 3 どちらかといえば読まない →1-3へ 4 読まない →1-3へ

1-2 「よく読む」「どちらかといえば読む」と答えた方にお聞きします。

その理由はなんですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 本が好きだから 2 楽しいから 3 知らないことがわかるから 4 考える力がつくから
 5 国語の力がつくから 6 その他

1-3 「どちらかといえば読まない」「読まない」と答えた方にお聞きします。

その理由はなんですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 読みたい本があまりないから 2 どんな本を読んでいいのかわからないから
 3 読書は面倒だから 4 部活動で時間がないから 5 勉強・塾・習い事で時間がないから
 6 遊び・スポーツなどで時間がないから 7 その他



2 あなたは、本をどのようにして選ぶことが多いですか。最もあてはまる方を選んでください。

- 1 自分で選ぶ →2-2へ 2 人にすすめられて選ぶ →2-3へ

2-2 「自分で選ぶ」と答えた方にお聞きします。

どこで(どうやって)本を選びますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 本屋で選ぶ 2 学校の図書室で選ぶ 3 図書館や公民館・コミュニティセンターで選ぶ
 4 インターネットで調べて選ぶ 5 雑誌や本などで調べて選ぶ 6 その他



2-3 「人にすすめられて選ぶ」と答えた方にお聞きします。

誰のすすめで本を選びますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 家の人 2 学校の先生 3 友だち 4 学校の図書室の先生 5 塾や習い事の先生
 6 図書館や公民館・コミュニティセンターの人 7 その他

3 あなたは、あなたの家族が本を読んでいる姿を見かけますか。

- 1 よく見かける 2 たまに見かける 3 見かけない 4 わからない



4 あなたは、幼いころ(小学校に入る前)に、誰かに本を読んでもらったことがありますか。

- 1 よくあった →4-2へ 2 たまにあった →4-2へ 3 なかった →5へ 4 おぼえていない →5へ

4-2 「よくあった」「たまにあった」と答えた方にお聞きします。

本を読んでもらったのは誰ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 家の人 2 保育所や幼稚園の先生 3 図書館や公民館・コミュニティセンターの人
 4 おはなし会・文庫会の人 5 その他 6 おぼえていない



5 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

- 1 大切 2 どちらかといえば大切 3 どちらかといえば大切ではない 4 大切ではない 5 わからない

6 本を読むことで、あなたにどんな影響があったと思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 考える力がついた 2 国語の力がついた 3 想像力がゆたかになった 4 性格が明るくなった
 5 相手の気持ちを考えるようになった 6 がまん強くなった 7 負けない気持ちが強くなった
 8 いろいろなことに興味がわくようになった 9 その他 10 特にかわらない 11 わからない

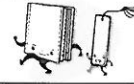
裏につづきます ⇒

2)学校での読書について

7 あなたは、学校で自由に本を読むことがありますか。

- 1 よくある 2 たまにある 3 ない

8 あなたのクラスでは、「読書の時間」(朝の読書など)がありますか。



- 1 ある →8-2へ 2 ない →9へ

8-2 「読書の時間」が「ある」と答えた方にお聞きします。「読書の時間」によって、何か変わったことや感じていることはありますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 読書の時間は楽しい 2 本が好きになった 3 いろいろな本を読むようになった
4 おちついて学校生活を送れるようになった 5 読書の時間以外にも本を読むようになった
6 読書の時間はつまらない 7 特に変わったことや感じていることはない

9 あなたは、学校の図書室や学級文庫を利用しますか。



- 1 よく利用する 2 どちらかといえば利用する 3 どちらかといえば利用しない 4 利用しない

10 あなたは、学校の図書室を利用する時に一番困ることは何ですか。

- 1 読みたい本がない 2 利用できる時間が短い 3 行きたいときに開いていない
4 本について相談する人がいない 5 本を読む場所がない 6 図書室が遠い
7 貸し出し方法が面倒 8 特に困ることはない

11 あなたは、学校の図書室がどうなれば、もっと利用しやすくなると思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 利用できる時間を長くする 2 利用日をふやす 3 図書室の先生がいる日をふやす
4 もっといろいろな本をおく 5 貸し出し期間をもっと長くする 6 貸し出し方法をかんたんにする
7 本を選びやすくする 8 本の探し方・調べ方を教えてもらう

3)学校以外の図書館などの利用について

12 あなたは、本を読んだり借りたりするために、学校以外の図書館など(中央図書館や公民館・コミュニティセンターの図書室など)を利用しますか。

- 1 よく利用する →13へ 2 どちらかといえば利用する →13へ
3 どちらかといえば利用しない →12-2へ 4 利用しない →12-2へ

12-2 「どちらかといえば利用しない」「利用しない」と答えた方へお聞きします。その理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



- 1 学校図書室で間に合うから 2 遠いから 3 いそがしいから 4 本に興味がないから
5 利用方法がわからないから

13 あなたは、中央図書館や公民館・コミュニティセンターの図書室などがどうなれば、もっと利用しやすくなると思いますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

- 1 利用できる時間を長くする 2 利用日をふやす 3 おはなし会(読み聞かせ)をする
4 もっといろいろな本をおく 5 貸し出し期間をもっと長くする 6 本を選びやすくする
7 自分で調べられるパソコンをおく 8 本の探し方・調べ方を教えてもらう 9 学習ができる部屋をおく

アンケート集計表

※質問ごとに○をつけた番号を書き写してください。



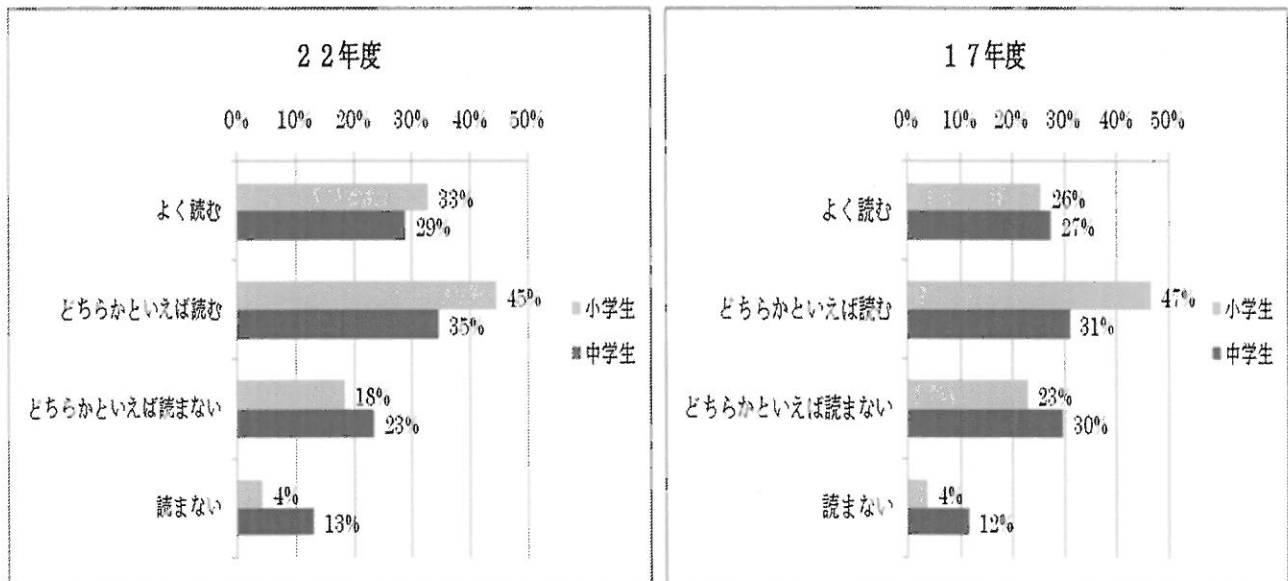
| 1 | 1-2 | 1-3 | 2 | 2-2 | 2-3 | 3 | 4 | 4-2 | 5 | 6 | 7 | 8 | 8-2 | 9 | 10 | 11 | 12 | 12-2 | 13 |
|---|-----|-----|---|-----|-----|---|---|-----|---|---|---|---|-----|---|----|----|----|------|----|
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

～アンケートへのご協力ありがとうございました～

読書についてのアンケート(小中学生)

1) 読書についての考え方などについて

問1 あなたは、よく本を読みますか。

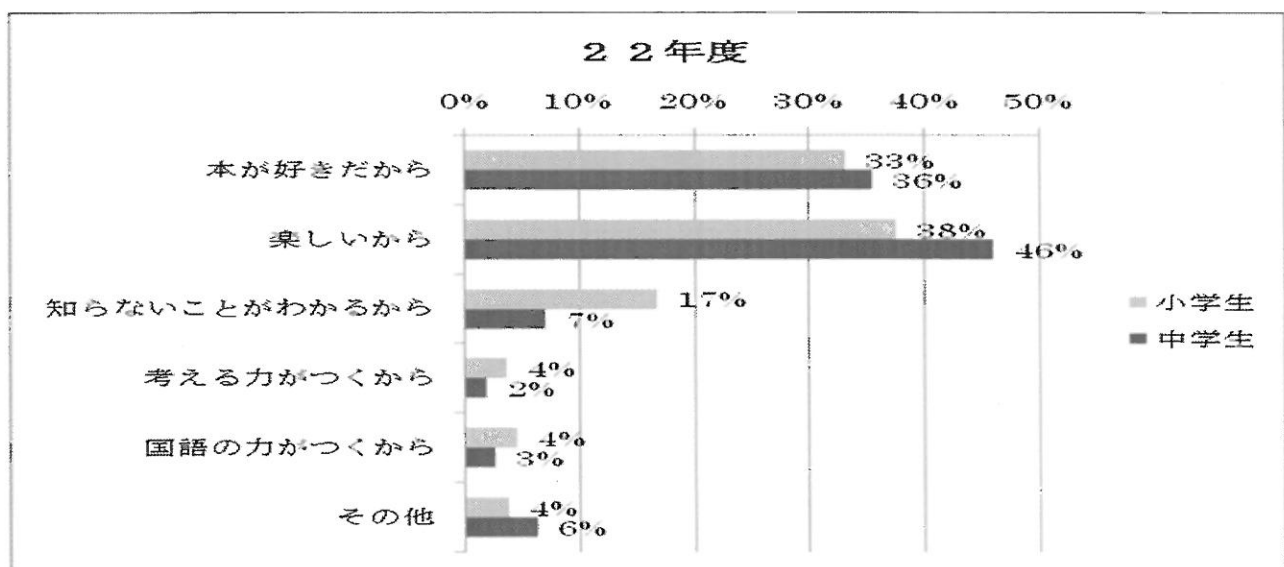


「よく読む」・「どちらかといえば読む」の割合は、小学生の78%に対し中学生は64%であり、中学生になると本を読まなくなる傾向がうかがえる。

前回調査（平成17年度）では、「よく読む」・「どちらかといえば読む」の割合は、小学生が73%、中学生は58%であり、小学生、中学生ともに本を読む割合が前回調査より増加している。

問1-2 「よく読む」「どちらかといえば読む」と答えた方にお聞きします。

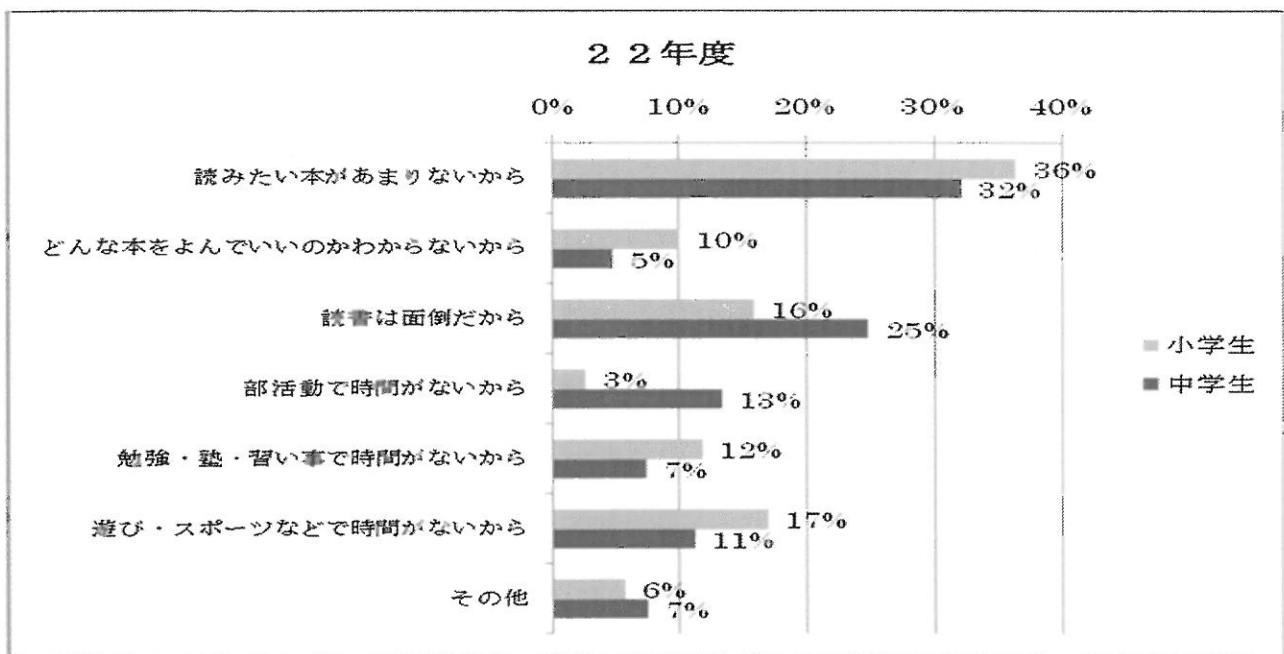
その理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



本を読む理由としては、小学生、中学生ともに「楽しいから」が最も多く（38%・46%）、次いで「本が好きだから」（33%・36%）、「知らないことがわかるから」（17%・7%）となっている。

このことから、小中学生においては、知識や学力の向上よりも、本に対する純粋な興味が読書の動機となっていることがうかがえる。

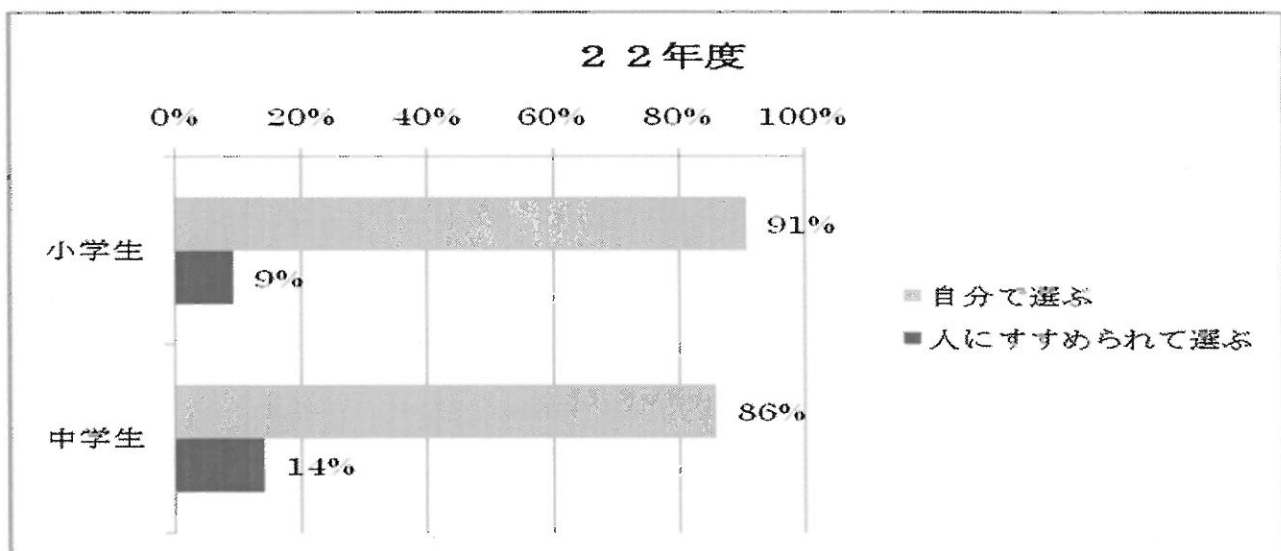
問1-3 「どちらかといえば読まない」「読まない」と答えた方にお聞きします。
その理由は何ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



本を読まない理由としては、小学生、中学生ともに「読みたい本があまりないから」が最も多く（36%・32%）、次いで小学生では「遊び・スポーツなどで時間がないから」（17%）、「読書は面倒だから」（16%）と続き、中学生では「読書は面倒だから」（25%）、「遊び・スポーツなどで時間がないから」（11%）となっている。

「遊び・スポーツ」の他、小学生では「勉強・塾・習い事で時間がないから」（12%）、中学生では「部活動で時間がないから」（13%）など、「～で時間がない」とした理由の割合も高く、これらを合わせた割合は小学生32%、中学生31%となっており、自由な時間の少ない小中学生の実情も読み取れる。

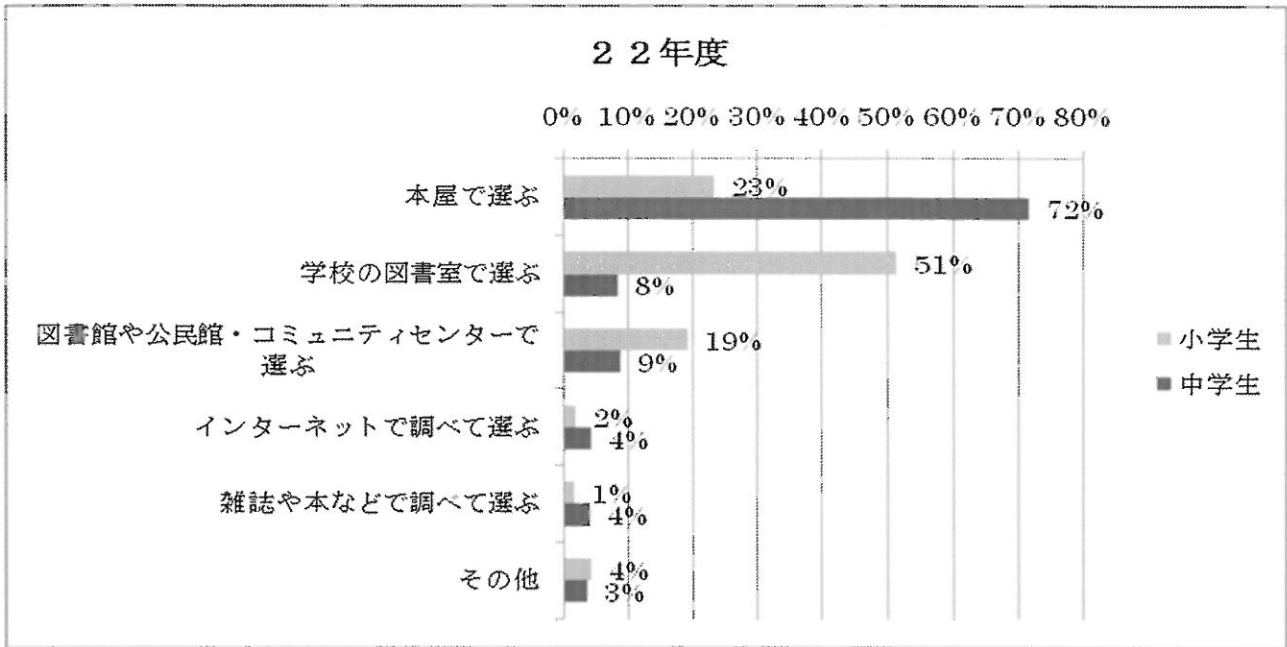
問2 あなたは、本をどのようにして選ぶことが多いですか。最もあてはまる方を選んでください。



選書の方法としては、小学生、中学生ともに「自分で選ぶ」が大部分を占めているが、中学生では7人に1人が「人にすすめられて選ぶ」機会が多いとしており、小学生に比較して若干高めの割合となっている。

問2-2 「自分で選ぶ」と答えた方にお聞きします。

どこで(どうやって)本を選びますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。

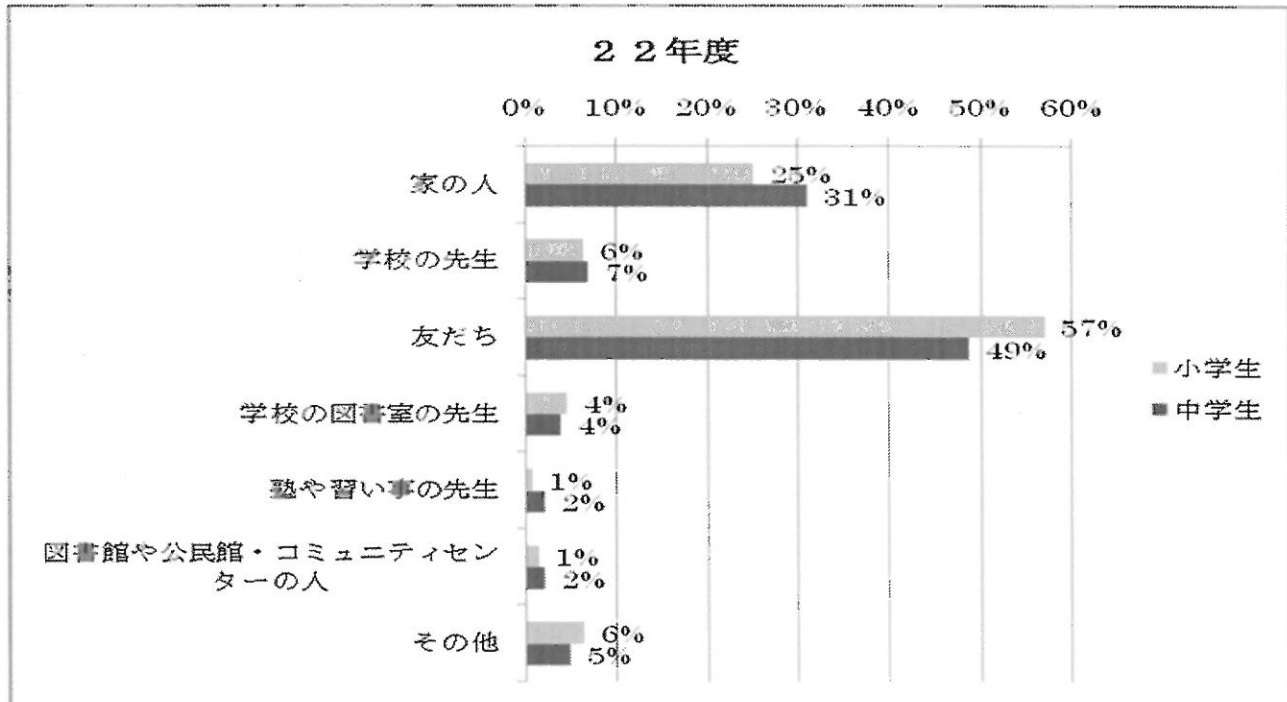


小学生で最も多かった「学校の図書室で選ぶ」(51%)は中学生では8%であり、中学生で最も多かった「本屋で選ぶ」(72%)は小学生で23%と、両者の割合に明確な違いが出た。行動範囲や金銭的な面、学校図書館の状況等が要因として考えられる。

また、「図書館や公民館・コミュニティセンターで選ぶ」は、小学生の19%に対し中学生は9%となっており、読書施設に対する両者のウェートの違いが読み取れる。

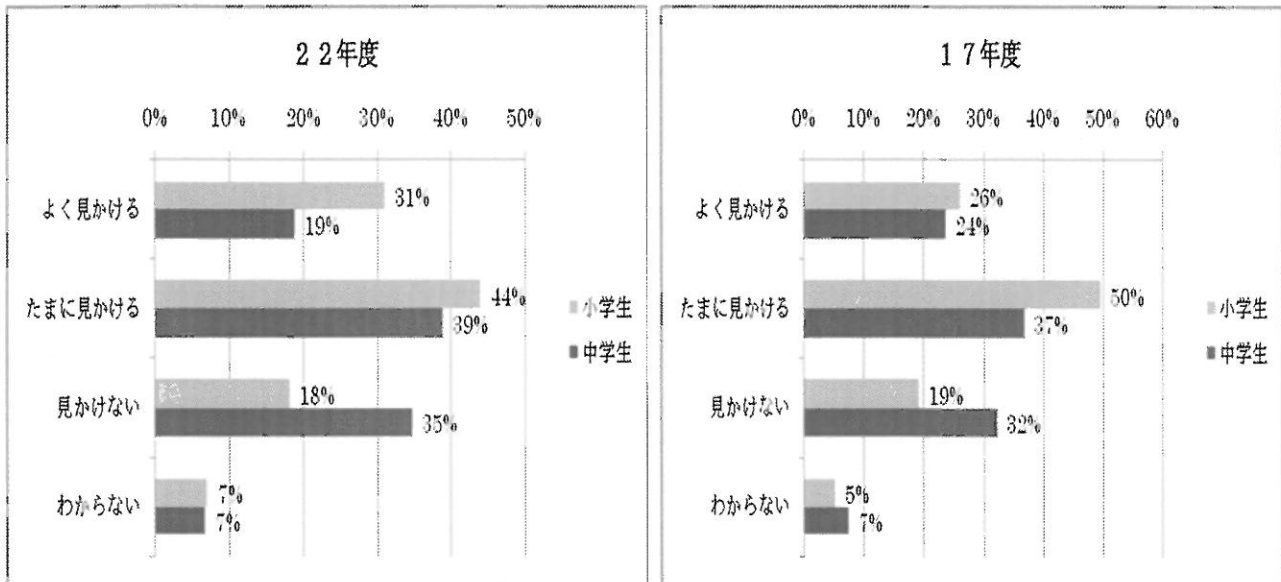
問2-3 「人にすすめられて選ぶ」と答えた方にお聞きします。

誰のすすめで本を選びますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



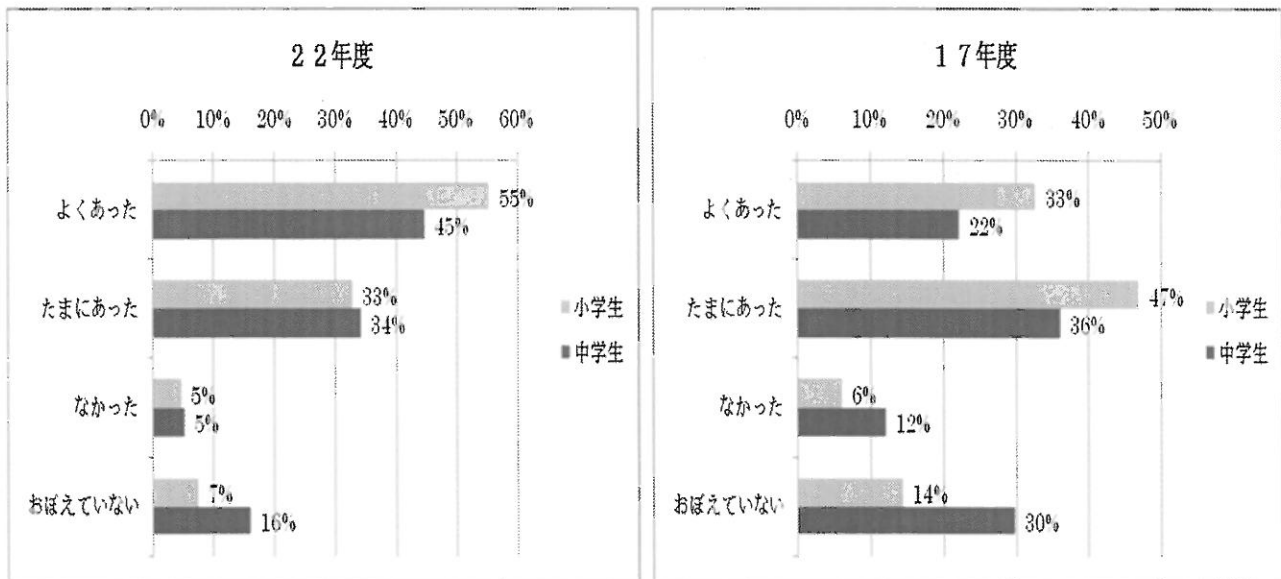
小学生、中学生ともに「友だち」が最も多く(57%・49%)、次いで「家の人」となっている(25%・31%)。身近な人の影響が大きいことがうかがえる。

問3 あなたは、あなたの家族が本を読んでいる姿を見かけますか。



「よく見かける」・「たまに見かける」の割合は、小学生の75%に対し中学生は58%と低くなっている。前回調査（平成17年度）との比較では、「よく見かける」・「たまに見かける」の割合は、小学生が76%、中学生が61%であり、ほぼ同様の割合で推移している。

問4 あなたは、幼いころ(小学校に入る前)に、誰かに本を読んでもらったことがありますか。

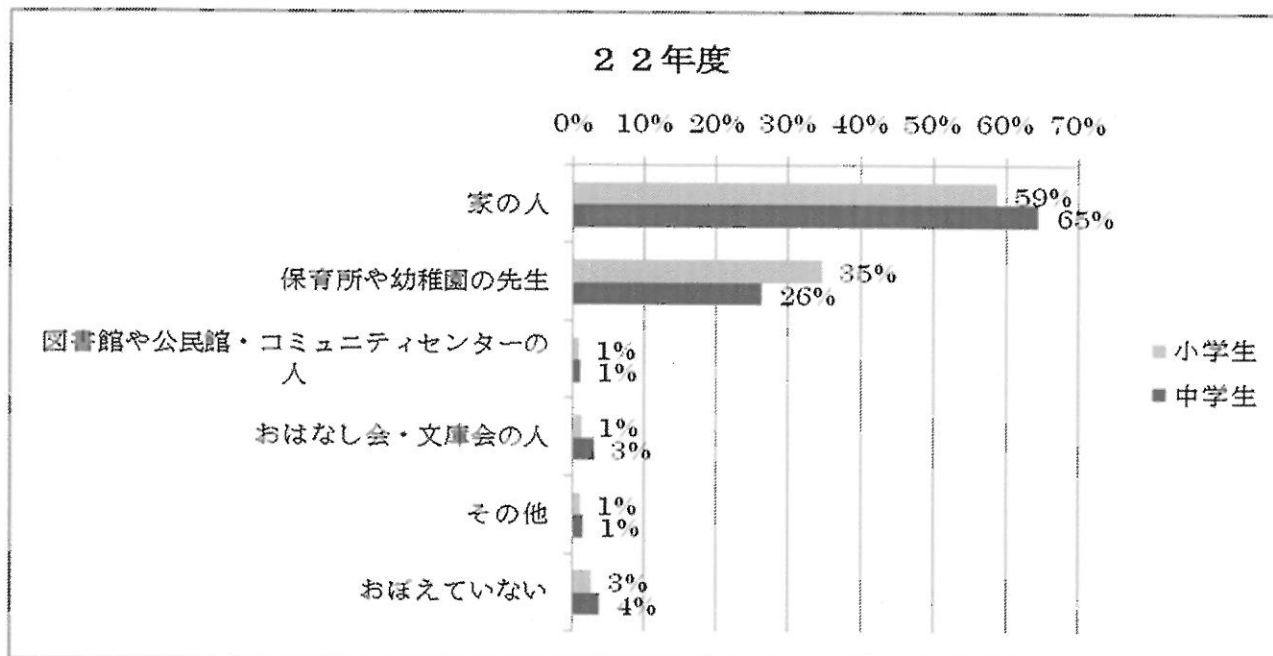


「よくあった」・「たまにあった」の割合は、小学生が88%、中学生が79%と、いずれも高い割合を示している。

前回調査（平成17年度）では、「よくあった」・「たまにあった」の割合は、小学生が80%、中学生が58%であり、当時と比較してかなりの向上が見られ、特に「よくあった」の割合が、小学生、中学生とも大幅に増えている。

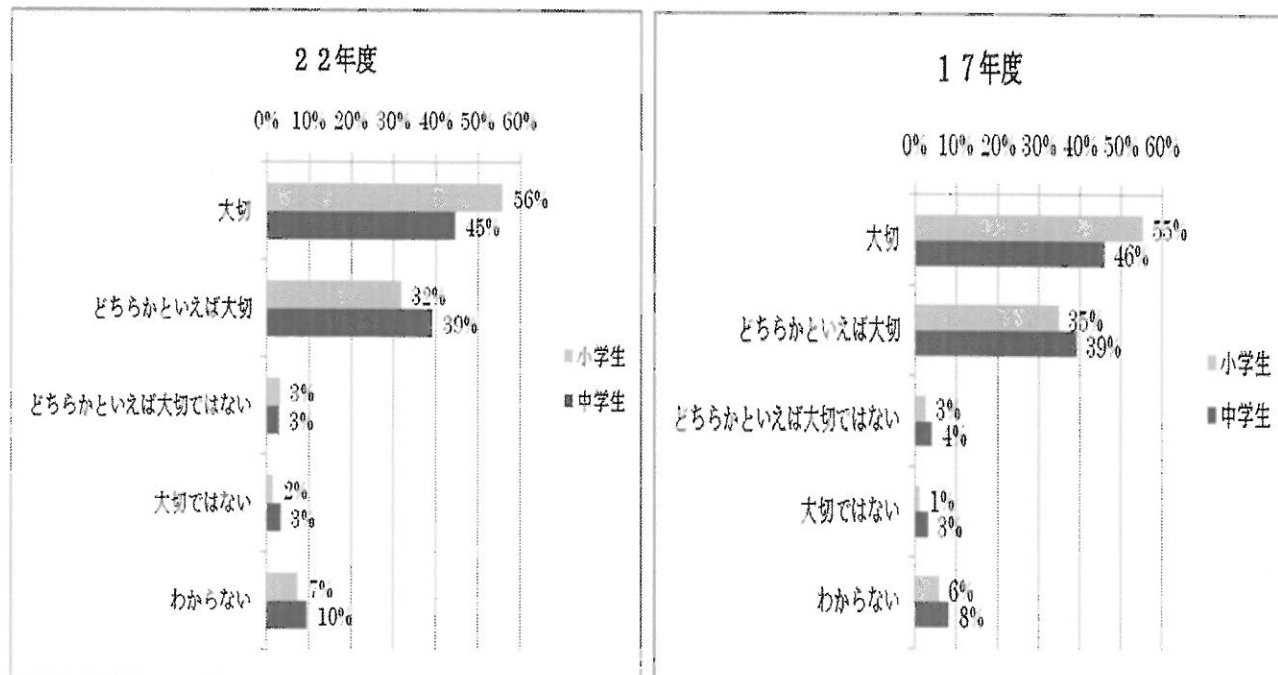
問4-2 「よくあった」「たまにあった」と答えた方にお聞きします。

本を読んでくれたのは誰ですか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



小学生、中学生ともに「家の人」が最も多く（59%・65%）、次いで「保育所や幼稚園の先生」（35%・26%）となっている。

問5 あなたは、本を読むことが大切だと思いますか。

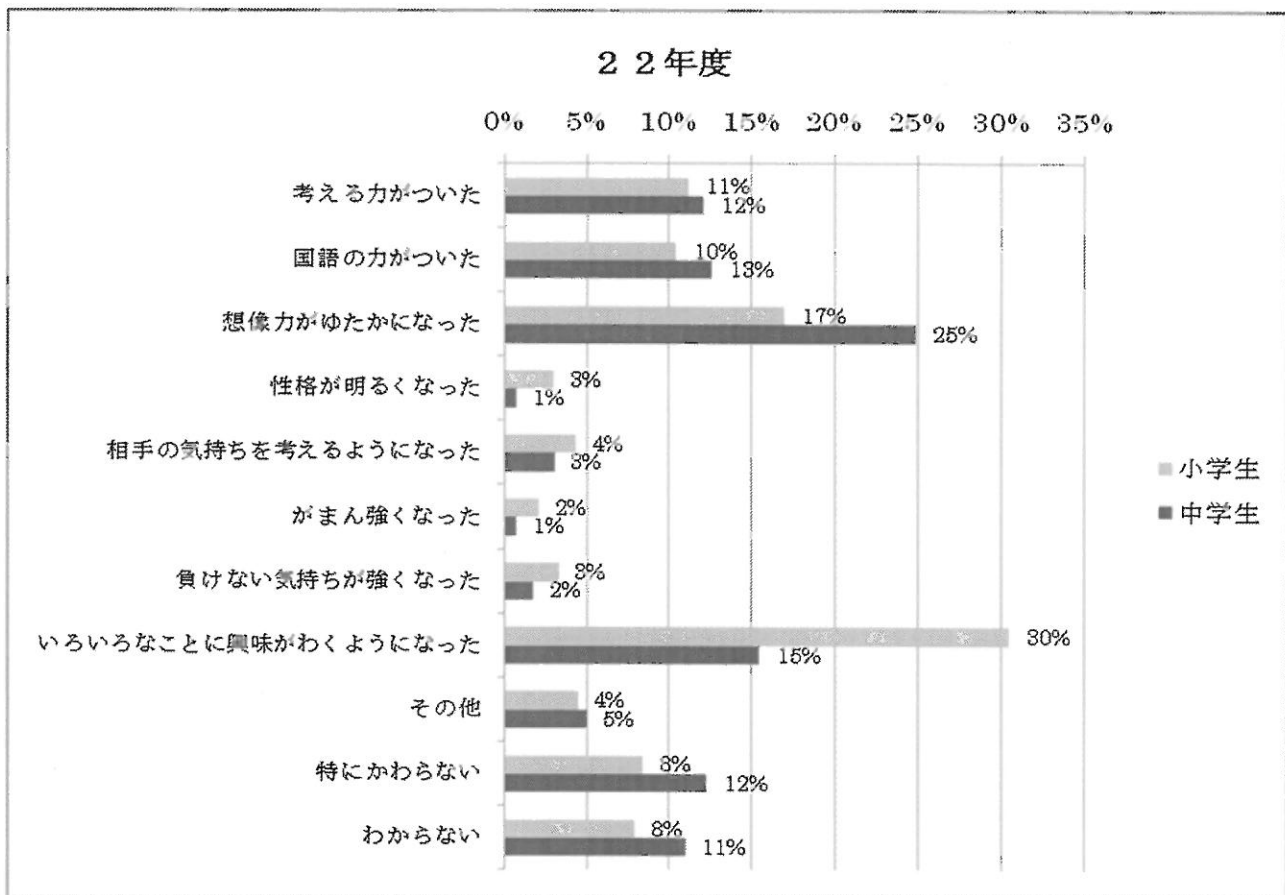


「大切」・「どちらかといえば大切」の割合は、小学生が88%、中学生が84%と、いずれも高い割合を示している。

前回調査（平成17年度）では、「大切」・「どちらかといえば大切」の割合は、小学生が90%、中学生が85%であり、ほぼ同様の割合で推移している。

問6 本を読むことで、あなたにどんな影響があったと思いますか。

最もあてはまるものを1つ選んでください。

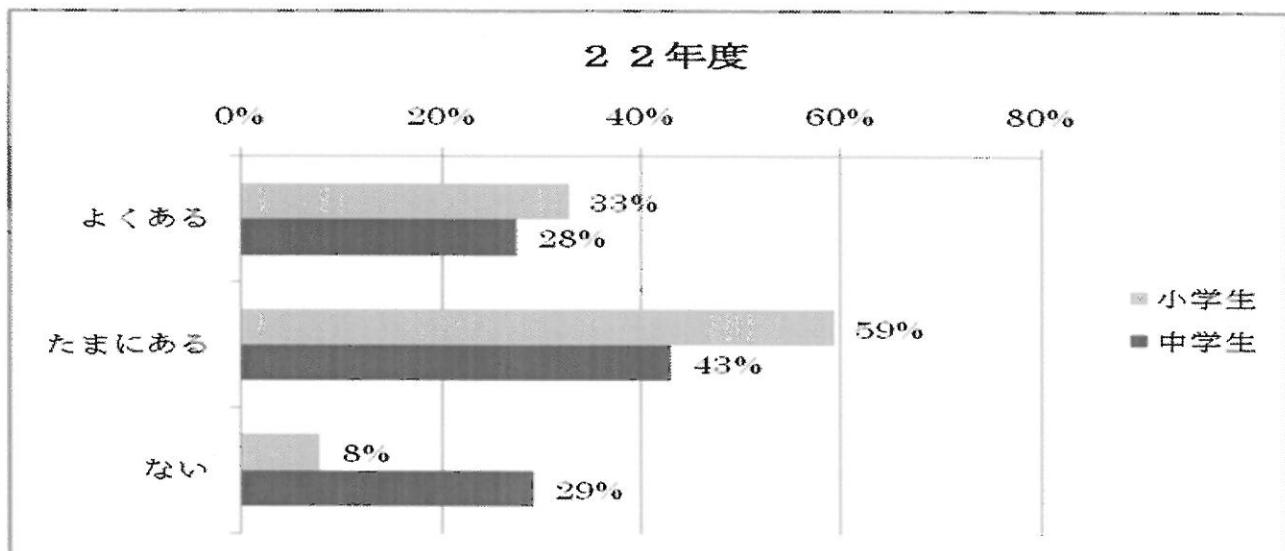


小学生では「いろいろなことに興味がわくようになった」が最も多く（30%）、次いで「想像力がゆたかになった」（17%）、「考える力がついた」（11%）となっている。

一方、中学生では「想像力がゆたかになった」（25%）が最も多く、次いで「いろいろなことに興味がわくようになった」（15%）、「国語の力がついた」（13%）となっている。

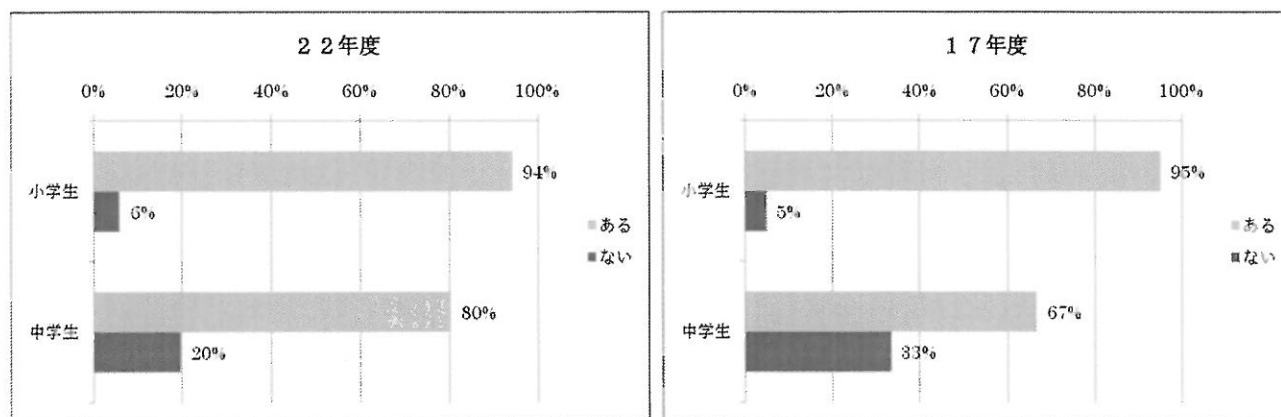
2) 学校での読書について

問7 あなたは、学校で自由に本を読むことがありますか。



「よくある」・「たまにある」の割合は、小学生が92%、中学生が71%となっており、両者で大きな開きがあるものの、中学生においても7割以上が学校で自由に読書を行っている。

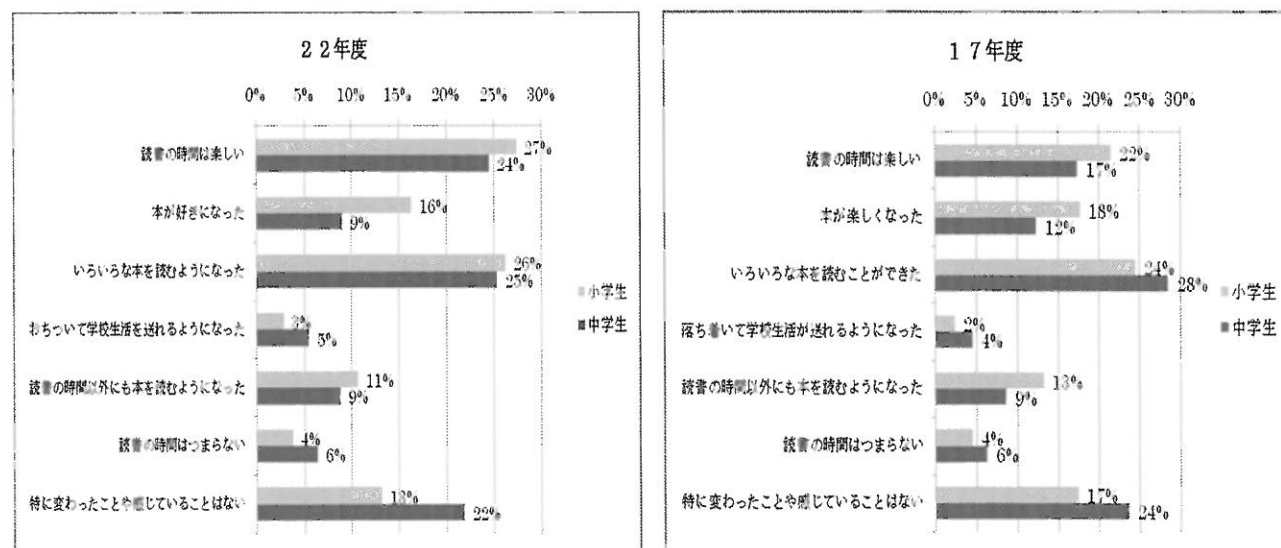
問8 あなたのクラスでは、「読書の時間」(朝の読書など)がありますか。



「ある」の割合は、小学生が94%、中学生が80%となっている。しかしながら、平成22年度の小学校における全校一斉読書活動（朝の読書等）の実施率は100%であることから、一部の児童に活動の趣旨がうまく伝わっていないことが調査結果に表れていることも考えられる。また、平成22年度の中学校における全校一斉読書活動（朝の読書等）の実施率は76%となっている。

前回調査（平成17年度）では、「ある」の割合は、小学生が95%、中学生が67%となっており、中学校における「朝読」等の取り組みが、大きく進展してきたことがうかがえる。

問8-2 「読書の時間」が「ある」と答えた方にお聞きします。「読書の時間」によって、何か変わったことや感じていることはありますか。最もあてはまるものを1つ選んでください。



小学生では「読書の時間は楽しい」が最も多く（27%）、次いで「いろいろな本を読むようになった」（26%）、「本が好きになった」（16%）となっている。

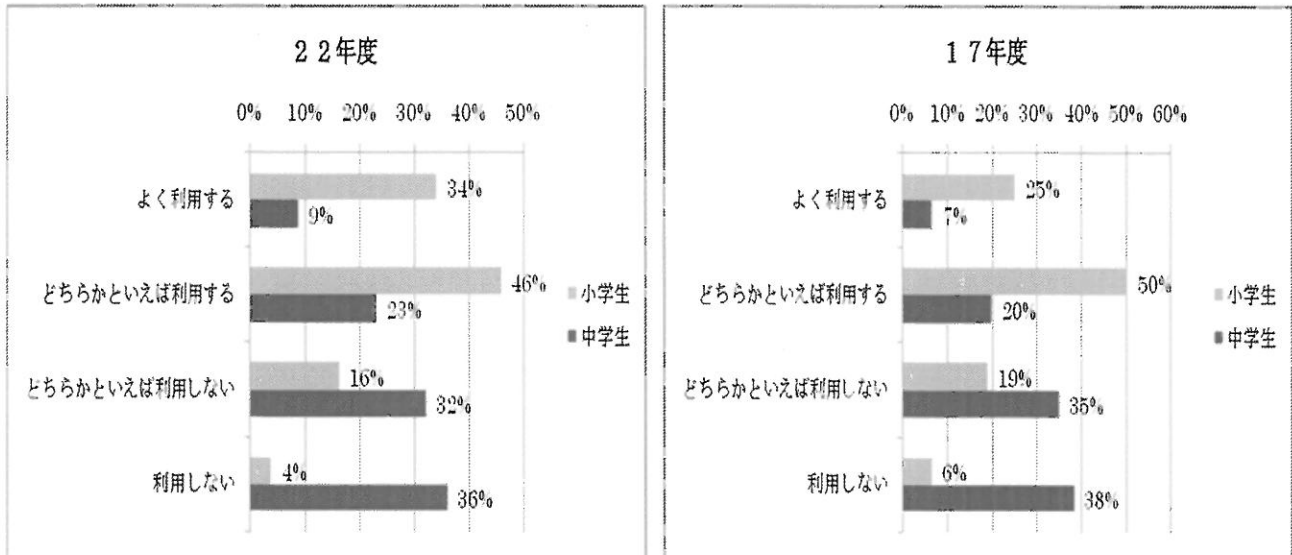
一方、中学生では「いろいろな本を読むようになった」が最も多く（25%）、次は「読書の時間は楽しい」（24%）であるが、第三位は「特に変わったことや感じていることはない」（22%）となっており、両者における意識の違いがうかがえる。

前回調査（平成17年度）では、小学生は「いろいろな本を読むことができた」が最も多く（24%）、次いで「読書の時間は楽しい」（22%）、「本が楽しくなった」（18%）となっている。

中学生では、「いろいろな本を読むことができた」が最も多いが（28%）、次は「特に変わったことや感じていることはない」（24%）となっており、「読書の時間は楽しい」（17%）と続いている。

否定的な意見について比較すると、「読書の時間はつまらない」の割合に差異はないが、「特に変わったことや感じていることはない」の割合は、小学生、中学生ともに前回調査より若干減少している。

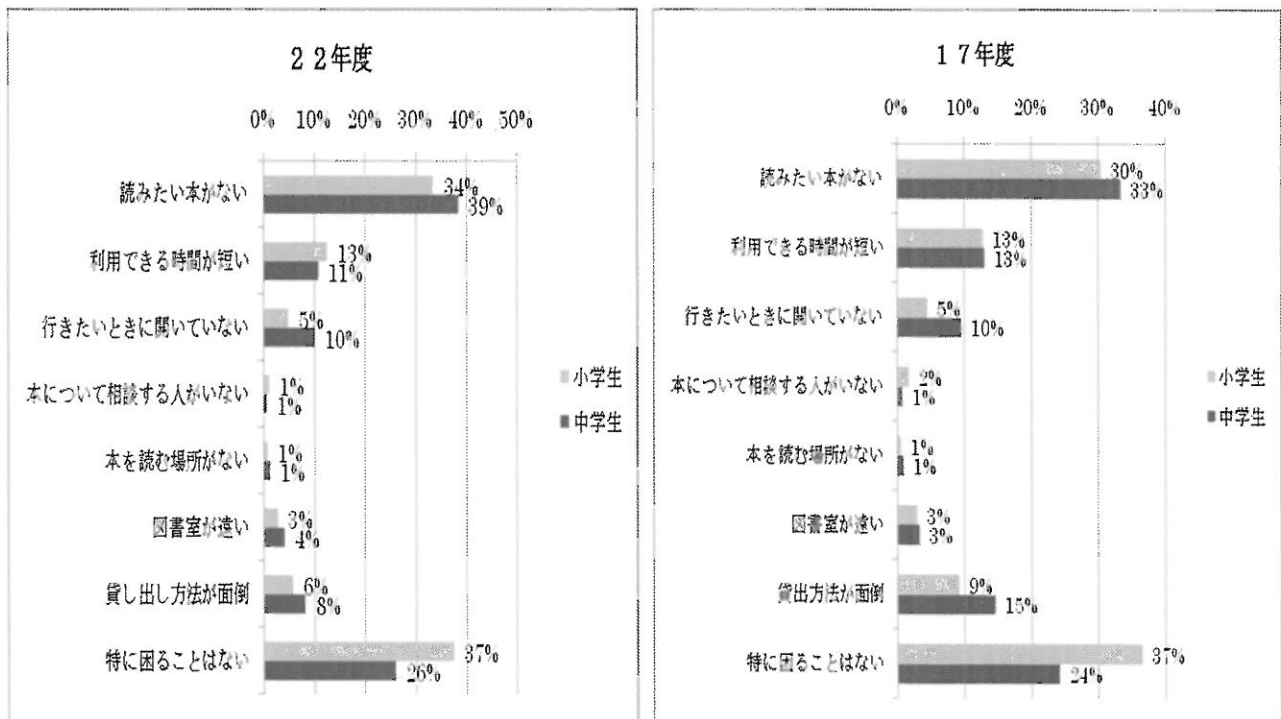
問9 あなたは、学校の図書室や学級文庫を利用しますか。



「よく利用する」・「どちらかといえば利用する」の割合は、小学生の80%に対し中学生が32%と、両者で大きな違いが見られる。

前回調査（平成17年度）では、「よく利用する」・「どちらかといえば利用する」の割合は、小学生が75%、中学生が27%であり、小学生、中学生ともに前回調査より若干増加している。

問10 あなたは、学校の図書室を利用する時に一番困ることは何ですか。

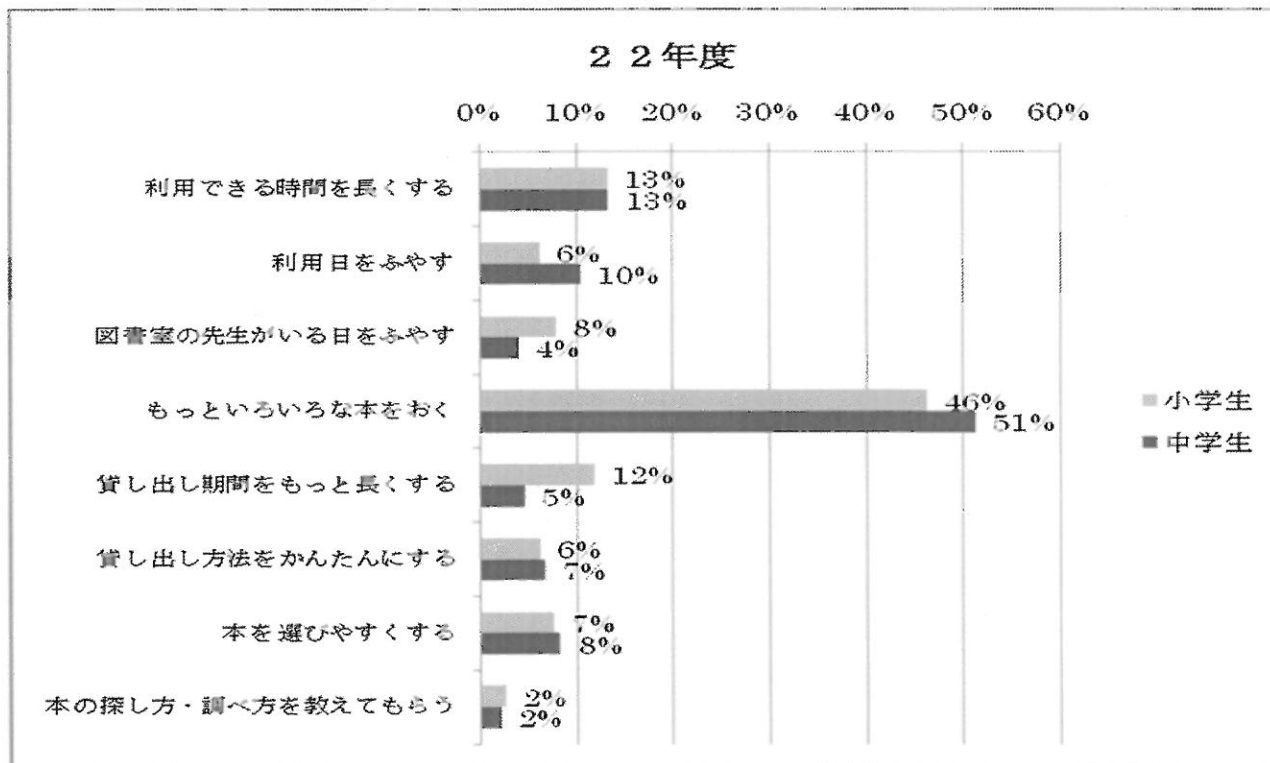


小学生では「特に困ることはない」が最も多く（37%）、次いで「読みたい本がない」（34%）、「利用できる時間が短い」（13%）となっている。

一方、中学生では「読みたい本がない」が最も多く（39%）、次いで「特に困ることはない」（26%）、「利用できる時間が短い」（11%）となっている。

前回調査（平成17年度）では、小学生は「特に困ることはない」（37%）、「読みたい本がない」（30%）、「利用できる時間が短い」（13%）となっており、中学生は「読みたい本がない」（33%）、「特に困ることはない」（24%）、「貸出方法が面倒」（15%）となっている。

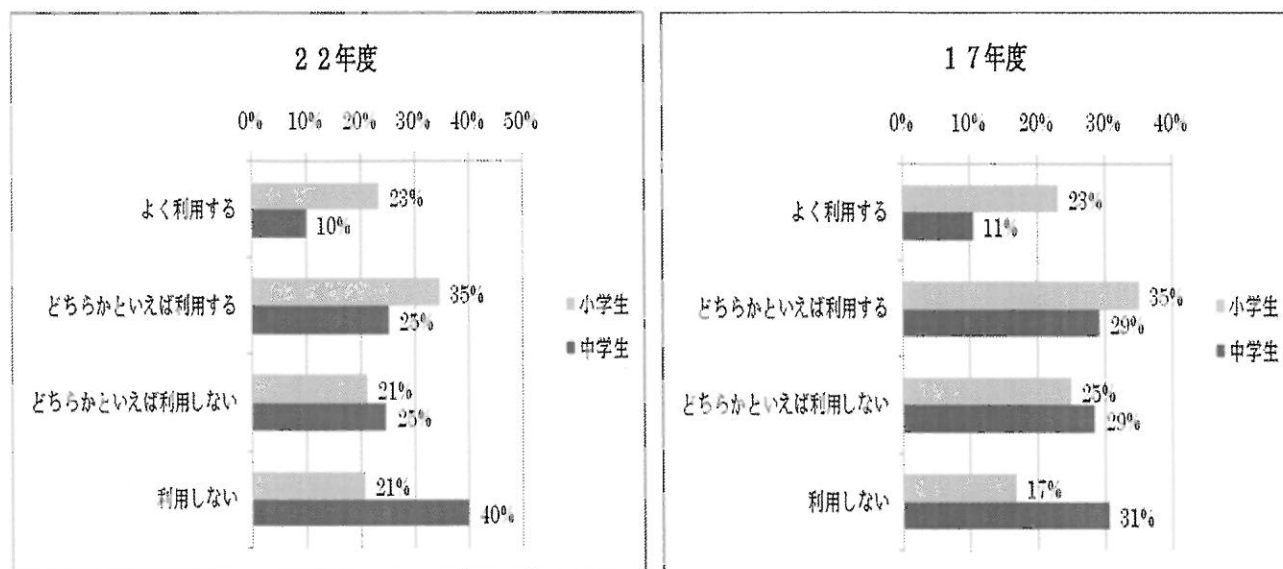
問11 あなたは、学校の図書室がどうなれば、もっと利用しやすくなると思いますか。
最もあてはまるものを1つ選んでください。



小学生、中学生ともに「もっといろいろな本をおく」が最も多く（46%・51%）、次いで「利用できる時間を長くする」（13%・13%）となっている。次には、小学生では「貸出期間をもっと長くする」（12%）、中学生では「利用日をふやす」（10%）となっている。

3) 学校以外の図書館などの利用について

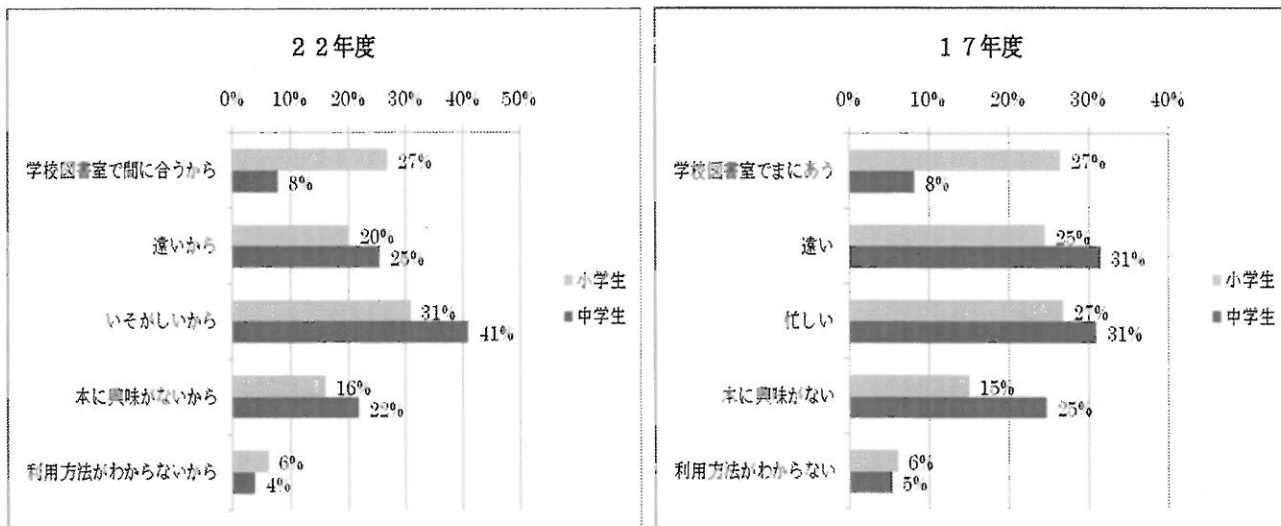
問12 あなたは、本を読んだり借りたりするために、学校以外の図書館など（中央図書館や公民館・コミュニティセンターの図書室など）を利用しますか。



「よく利用する」・「どちらかといえば利用する」の割合は、小学生の58%に対し中学生が35%と、両者で大きな違いが見られ、特に中学生では「利用しない」の割合が4割に達している。

前回調査（平成17年度）では、「よく利用する」・「どちらかといえば利用する」の割合は、小学生が58%、中学生が40%であり、中学生において前回調査より若干の減少が見られ、「利用しない」の割合は、小学生、中学生ともに増加している。

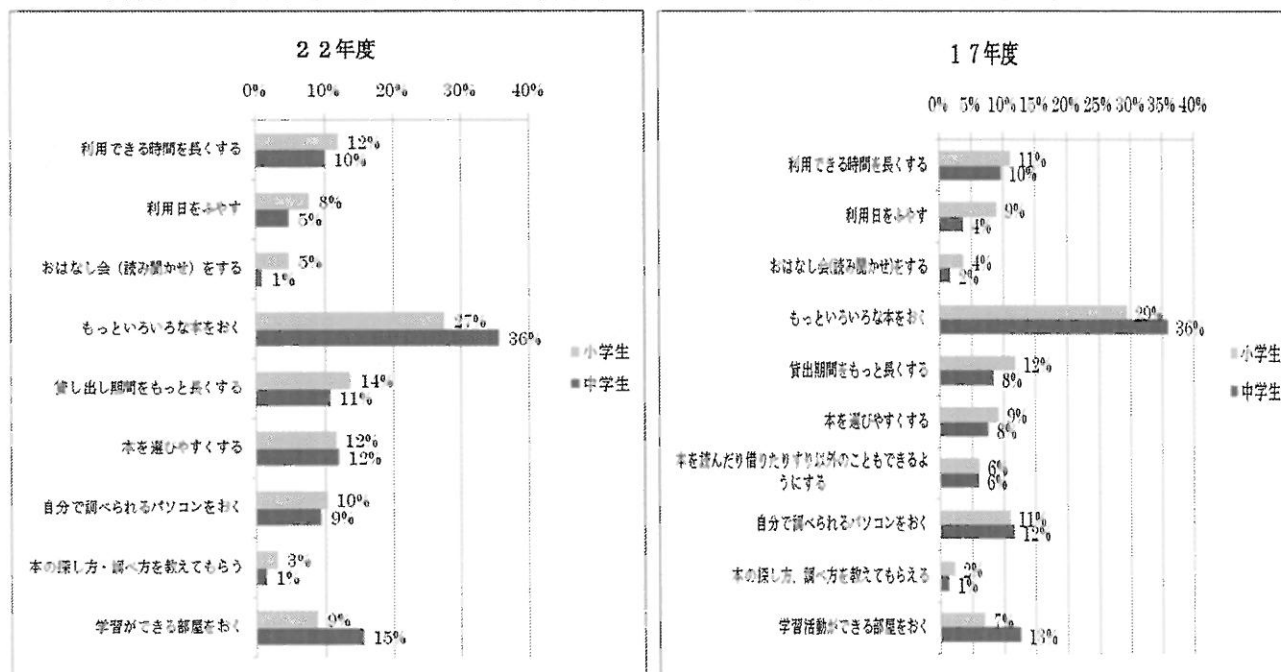
問12-2 「どちらかといえば利用しない」「利用しない」と答えた方へお聞きします。その理由は
何ですか。最もあてはまるものを1つ選んで下さい。



小学生、中学生ともに「いそがしいから」が最も多く（31%・41%）、次いで、小学生では「学校図書室で間に合うから」（27%）、「遠いから」（20%）となっており、中学生では「遠いから」（25%）、「本に興味がないから」（22%）となっている。

前回調査（平成17年度）では、小学生は「学校図書室で間に合うから」、「いそがしいから」が最も多く（27%）、次いで「遠いから」（25%）となっている。一方、中学生は「遠いから」、「いそがしいから」（31%）、「本に興味がないから」（25%）となっており、小学生、中学生ともに「いそがしいから」の割合が増加している。

問13 あなたは、中央図書館や公民館・コミュニティセンターの図書室などがどうなれば、もっと
利用しやすくなると思いますか。最もあてはまるものを1つ選んで下さい。



小学生、中学生ともに「もっといろいろな本をおく」が最も多く（27%・36%）、次いで、小学生では「貸し出し期間をもっと長くする」（14%）、「本を選びやすくする」（12%）となっており、中学生では「学習ができる部屋をおく」（15%）、「本を選びやすくする」（12%）となっている。

前回調査（平成17年度）では、小学生、中学生ともに「もっといろいろな本をおく」が最も多く（29%・36%）、次いで、小学生では「貸し出し期間をもっと長くする」（12%）、「利用できる時間を長くする」（11%）となっており、中学生では「学習ができる部屋をおく」（13%）、「自分で調べられるパソコンをおく」（12%）となっている。